



土屋会長 (会長挨拶)

2023-2024



世界に希望を生み出そう

国際ローター 第2800地区

Weekly report

長井ロータリークラブ

クラブ概要

第2800地区ガバナー 伊藤 三之
第6グループガバナー補佐 佐藤 靖彦
長井ロータリークラブ会長 土屋 茂樹
幹事 河井 智寛
例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
例会場 タスパークホテル
Tel.0238-88-1833
事務局 長井商工会議所内
Tel.0238-83-2047
URL : <http://www.nagai-rc.jp/>
E-mail : info@nagai-rc.jp
会報委員会 高橋秀幸 佐藤隆径
栗田正彦 小笠原信吾



開会にあたり、本日のゲスト 若乃井酒造株式会社 代表取締役 大沼秀和氏をお迎えしました。

会長の時間 (挨拶・報告) 【土屋茂樹会長】

皆さんこんにちは。

毎日、暑い日が続いています。熱中症には十分に気を付けて過ごしていただきたいと思います。

本日はゲスト卓話に、飯豊町の若乃井酒造株式会社 大沼様をお迎えしての例会となります。よろしくお願いいたします。

前の例会でもお話させていただきましたが、今年度の重点目標に例会の充実を掲げさせていただいております。また、例会において、会員相互の親睦を深めることができる活動が行われる様、企画をしていただき、会員卓話やゲスト卓話をより充実したものにしたいと思っています。本日はゲスト卓話ということで大沼様のお話しに期待しております。よろしくお願いいたします。

突然ではございますが・・・

皆さん、プレーリードッグという動物をご存知かと思います。

プレーリードッグはみんなでバンザイをする動物だそうです。

群れで暮らすプレーリードッグは、仲間とのきずなが深い動物で、群れの見張り役は、ココアテなどの敵を見つけるとキャンキャンと鳴いて、仲間に危険を知らせます。

そうかと思えば、キューと鳴きながら「バンザイ」をすることもあります。1匹がバンザイをすると、すぐそばにいるプレーリードッグもバンザイ。さらに隣のプレーリードッグもバンザイ。まるでスポーツ観戦で見られる観客のウエーブのように、みんなでバンザイをつないでいくそうです。

これは、仲間に安全を知らせる「オーケーコール」という行動だそうです。

アピールが強すぎて、別の敵に見つかってしまいそうなのが残念です。

義務や自分の役割を守り、きずなの強いプレーリードッグにバンザイです。

義務や絆や親睦に関して言えば、ロータリーにおいても、五大奉仕部門の一つであるクラブ奉仕がそれにあたるのではないかと思います。

本題に話を戻しますが・・・

2023-2024



世界に希望を生み出そう

国際ローター 第2800地区

長井ロータリークラブ

Weekly report

クラブ概要

第2800地区ガバナー 伊藤 三之
第6グループガバナー補佐 佐藤 靖彦
長井ロータリークラブ会長 土屋 茂樹
幹事 河井 智寛
例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
例会場 タスパークホテル
Tel.0238-88-1833
事務局 長井商工会議所内
Tel.0238-83-2047
URL : <http://www.nagai-rc.jp/>
E-mail : info@nagai-rc.jp
会報委員会 高橋秀幸 佐藤隆彦
栗田正彦 小笠原信吾

先日の7月23日(日)に寒河江市のハートフルセンターに於いて「クラブ奉仕セミナー」が行われました。河井幹事、奉仕プロジェクト部門担当理事の小笠原職業奉仕委員長、私の3名が参加いたしました。

セミナー当日は、伊藤三之ガバナーの挨拶から始まり、続いて、クラブ奉仕委員長の藤野委員長(大江)より、開催についての趣旨説明がありました。

講演として、講師の鈴木一作パストガバナーに講話を頂きました。第一部は「クラブ奉仕の正しい理解」第二部は「標準ロータリークラブ定款」の改定について、話をしてくださいました。

クラブ奉仕の理解の講話の中で、クラブ奉仕とは?主語は?「会員がクラブに奉仕すること?」なのか、「クラブが会員に奉仕すること?」なのか、と、ある質問に対し、全てのロータリアンは自分が所属している特定のクラブに対して義務を負っており、各クラブはクラブを構成している会員に対して責任を負っています。とあり、クラブ会員がクラブに対して果たす義務、例えば例会の出席や、また、クラブがクラブ会員に対して果たす責務、例えばクラブリーダーの責務・魅力的で価値のある例会の管理運営をすること。と話され、特に会長挨拶は重要であるとプレッシャーをかけていただきました。主語は双方で、公平性が求められると話されました。

定款の改定については、現行の定款第6条の1「奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。」は、意味する内容があまりにも不明確であり、具体的内容を明確に記すべきであるとし、2800地区として、改正案を提案し、地区大会で決議をしていただきたい。と講話なされました。

参考として、改正案「1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの目的を達成するために、クラブ内で取るべき会員の親睦と高潔性に満ちた積極的な行動、およびクラブリーダーらによる多様性、公平性、インクルージョンに基づいたクラブ管理運営に関わるものである。」が案のようです。

最後に、総括として、クラブ奉仕アドバイザーの齋藤榮助パストガバナーが地区大会での決議をお願いし閉会いたしました。

ロータリアンとして、そして会長としてしなければならない事を自覚して長井ロータリークラブの大きなウェブで様々な活動をアピールして、新会員を増やせるように頑張りたいと思います。

更なるご指導とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

またまた話しは変わりますが・・・

皆さん、ツパイという動物をご存知でしょうか?

別名キネズミ、またはリスモドキと呼ばれる動物です。

このツパイは毎日、お酒をあびるほど飲むそうです。

マレー半島にはお酒を出すヤシの木があるそうです。つぼみから出る蜜が自然に発酵し、アルコールが含まれるお酒になるのです。そのお酒を求めてやって来るのがツパイです。昼と夜では違う種類のツパイがやってきて、人間なら酔っぱらって立てなくなるほどの量を毎日飲むそうです。そんなに飲んでも平気なのは、肝臓のアルコール分解能力がものすごく高いためのようです。

一方のヤシの木はお酒を餌にツパイをおびき寄せて、花粉を運んでもらいます。ヤシの木もちゃんと考えているようです。

若乃井さん肝臓に優しいお酒をよろしくお願いいたします。

土屋 茂樹 会長

各種報告

2023-2024



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー 第2800地区

長井ロータリークラブ

Weekly report

クラブ概要

第2800地区ガバナー 伊藤 三之
 第6グループガバナー補佐 佐藤 靖彦
 長井ロータリークラブ会長 土屋 茂樹
 幹事 河井 智寛
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
 例会場 タスパークホテル
 TEL0238-88-1833
 事務局 長井商工会議所内
 TEL0238-83-2047
 URL : <http://www.nagai-rc.jp/>
 E-mail : info@nagai-rc.jp
 会報委員会 高橋秀幸 佐藤隆径
 栗田正彦 小笠原信吾

バッジ授与



新入会会員 東北電力ネットワーク株式会社社長井電力センター所長：佐藤眞一様にロータリーバッジの授与式を行ないました。

幹事報告

7月23日(日)寒河江ハートフルセンターでのクラブ奉仕セミナーに3名参加。

おきたま五蔵会より、10周年記念パーティーへの参加御礼を頂く。

8月10日(木)「くるんと」竣工式に会長が出席。

河井 智寛 幹事

委員会報告

社会奉仕委員会

齋藤 圭央 委員長

・8月1日(火)「小さな親切運動 朝清掃」…AM6:00集合
ロータリー奉仕デーも行ないます。

青少年奉仕委員会・国債奉仕委

伊藤 克也 委員長

・7月22日(土)寒河江でローターアクトクラブ会長幹事会・青少年奉仕委員会に参加。全国ローターアクト大会ののにも話があった。

在籍年数表彰

渡部堅一会員・・・在籍19年

渡邊清隆会員・・・在籍17年



ニコニコBOX



ゲストを歓迎して

土屋茂樹会長、村田剛会員、高橋秀幸会員
ゲスト・新入会員を歓迎して
伊藤克也会員、大山友規憲会員、
いつも美味しく頂いています
小笠原信吾会員

ゲスト卓話



2023-2024



世界に希望を生み出そう

国際ローター 第2800地区

長井ロータリークラブ

Weekly report

クラブ概要

第2800地区ガバナー 伊藤 三之
第6グループガバナー補佐 佐藤 靖彦
長井ロータリークラブ会長 土屋 茂樹
幹事 河井 智寛
例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
例会場 タスパークホテル
Tel0238-88-1833
事務局 長井商工会議所内
Tel0238-83-2047
URL : <http://www.nagai-rc.jp/>
E-mail : info@nagai-rc.jp
会報委員会 高橋秀幸 佐藤隆径
栗田正彦 小笠原信吾

皆様こんにちは。飯豊町で日本酒を造っております若乃井酒造です。本日は私の自己紹介的な内容になります。

先ほどの会長のお話で、私は全く知りませんが、ツバイという生き物があるのだと、肝臓に優しいお酒は少し難しいですが「ツバイ若乃井」なんて名前を出してもいいのかなと思いました。日本酒の造り方や内容では少し難しい内容となるので、お招き頂き恐縮ですが、今回はざっくばらんに私の生い立ちの話を中心にお話させていただきます。

資料としては2枚準備させていただきましたが、まずは会社紹介と言うことで…

明治23年創業で、私で5代目となります。よく日本酒の業界では生産量を300石とか500石とかの単位で表すのですが、100石が1升瓶で10,000本になります。なので、弊社の生産量は300石なので54,000Lになりますが、水で割ったりすることもありますので、実際の販売本数は若干多くなります。ただ日本酒は在庫を持ちながら生産いたしますので、生産した物を全て売ることでは無く、毎年生産計画を立ててお酒を造っていきます。日本酒の成分は80%が水です。そのほか酵母とかありますが、とにかく水が大事になります。私の蔵は水が良質で、口当たりが柔らかいけど切れが良い特性があり、辛口出なく若干甘めで作るように変えております。お酒の特徴としては、私の体を見ていただいても判るように、食べるのが好きと言うことで、香りが少なく、料理の邪魔をしないタイプが多い。

